

【参加報告】平成26年度技術士第二次試験合格者祝賀会

原子力・放射線部会  
岡村 章、佐々木 聡

平成27年4月18日(土)、日本技術士会 平成26年度技術士第二次試験合格者祝賀会(CPD実行委員会主催)が開催された。本年は、参加者の増加を受けて外部の会場を使用することとなり、日本教育会館9階喜山倶楽部で行われた。

二次試験合格者の参加は107名(今回は原子力・放射線部門の参加者はなし)。部会からは、桑江部会長と岡村のほか、CPD実行委員として佐々木が出席し、新合格者や他部門の出席者と懇談し交流を深めた。

前半の研修会は、吉田会長の歓迎挨拶に続き、技術者倫理、CPDの概要、日本技術士会の紹介、部会活動紹介(本年は農業部会)に加え、今年度から新たに県支部の活動紹介(本年は神奈川県支部)と合格者からの質問コーナーを設け、講習時間を1時間延長して実施された。

後半の祝賀会には14の部会と神奈川、埼玉、千葉の県支部、及び修習技術者支援実行委員会と青年技術士交流実行委員会が参加し、部門毎のブースにPRブースが設けられ、原子力・放射線部会も部会活動の内容紹介のポスターを掲示し閲覧に供した。

CPD実行委員会の岡崎敏樹氏の司会のもと、日本技術士会副会長の鮫島信之氏(鹿島建設顧問)の挨拶、理事久下善生氏(東光コンサルタンツ)音頭による乾杯を皮切りに歓談に移った。鮫島副会長は、自身の体験から、技術士会に入会のメリットとして、著名な講師による講演会などのCPD行事に参加できること、職域・立場を超えた人脈が広がること、幹事になることでより一層メリットを享受できることを述べられた。

各部門の代表挨拶において、桑江部会長が、原子力・放射線部会が10周年を迎えたこと、引き続き福島支援活動に注力していること等、部会の活動状況について紹介した。終わりに、合格者による自己紹介が行われ、受験の苦労話や合格の喜び、技術士になることの抱負を語った。



設立10周年の活動と部会活動の紹介を行う桑江部会長



原子力放射線部門ブースにて

以上